

日本を支える建設業界で働く人のためのフリーペーパーマガジン



2年ぶりの開催 日本最大!!

架橋

[かけはし]

2021年 第24号 4月発行

CSPI-EXPO

Construction & Survey Productivity Improvement EXPO

大特集 5ページ

建設・測量生産性向上展

～次世代を担う、最先端技術が一堂に～

2021年5月12日(水)～14日(金)

幕張メッセ 展示ホール1・2・3、屋外展示場



「KURE スーパー5-56」特集 (7面)

オンナのホンネ “現場女子が語る”

～FOR NEXT GENERATION WORKERS～ スポニチ



現場女子ファイル VOL.23

荒木江身さん(53)

「博心設備(大阪市)の配管工として活躍」

電気工事士で闘病の末、18年に他界...亡き夫の遺志を継ぎたい一心でこの世界に

建築設備、給排水・衛生設備工事を主に行う博心設備(大阪市)で配管工として活躍されている荒木江身さん(53)。配管工になって今年で4年目。荒木さんが現場デビューすることになったきっかけは、突然訪れた。

荒木さんは電気工事士だった夫が、闘病の末2018年に他界。独立し電気としての仕事も少なく、設備の仕事を手伝いしながらマルチに出来る職人を目指していた矢先だった。結婚してから専業主婦となっていた荒木さんは、生活をしていくため働く必要もあり、そして何より亡き夫の遺志を継ぎたい一心でこの世界に飛び込んだ。道具の名前も用語も分からず見習いとしてキャリアがスタート。現場で働く姿を見てきたから、甘いものではないと覚悟していたが、実際には想像していたよりはるかに過酷であることを思い知らされた。重い工具や資材の運搬、ホコリや粉じんを被ることも日常茶飯時。元々、ものづくりは好きなほうだったが、それでも亡き夫の遺志を何としても継ぎたい思いが、荒木さんを支えていた。それと、現場で出会う職人さんからの励ましも大きかった。

現場には様々な職種の職人さんが集まり、建物などが出来上がっていく。より良いものを造りたい“連帯感”、が今では病みつきになっている。手元作業(相番)は、設備関係の仕事では欠かせない。使用する道具も多く、作業工程、使用する道具を理解していないと現場作業はかどらない。手元が単なる見習いではなく「手元は手下ではなく対等な相棒なんすよ」という先輩職人の言葉が荒木さんの中で印象に残っている。今では配管もすれば鉄管のねじ切りなども行う。インフラを担っているという責任感はとても大きい、それがやりがいにもなっている。

充実した現場生活でもまだまだ改善してほしいことがある。特に、現場での女性用トイレの設置だ。周りではトイレがないということで現場に出ることをあきらめている方もいるそうだ。そういったこともあり女性職人が少ないのが現状。「戸建での改修工事に行ったときに、女性職人ということで大事にさせていただいて次の仕事を依頼してもらったこともありました」など、女性にしか出来ないこともあると思っている。「やっぱり女性が(現場に)増えてほしいなと思いますね」とも。今後は、年齢的なこともあり現場に出続けることは難しくなってくる。「自分の出来る範囲で若い人たちがやりやすい環境づくりの力になれば」と先を見据えている。「素敵なものをつくりあげていくのが建設の仕事の魅力。相手を思いやることは大事です」と将来の担い手にもメッセージを送ってもらった。



1 先輩職人の手元は手元ではなく対等な相棒という言葉が印象に残っているという荒木江身さん。今では配管工事や配管撤去作業なども行う



3



想像以上の過酷な作業も現場の職人さんに励まされ「連帯感」が今では病みつきに

女性トイレ設置などで「女性が増えてほしい。若い人がやりやすい環境づくりを」

女性職人さん大募集!!
職種は問いません。応募は下記まで

よろしくお願いたします

【お知らせコーナー】
（設置場所募集）フリーペーパー「架橋」の設置協力いただけるショップ、企業を募集いたします。
（モニター募集）商品テストしたい企業様、モニター(モデル)になってほしいという方を募集しています。



（読者モデル募集）「架橋」の表紙モデルになりませんか？
希望者は簡単なプロフィール、連絡先、写真を添えてメールにて応募ください。
問い合わせ・応募先: kakehashi@sponichi.co.jp
【発行元】スポーツニッポン新聞社 【協力】樹宣成社
【求人広告のご用命】建設作業員、職人募集は「スポニチ案内」へ。
問い合わせ 東京☎03(3820)0627 大阪☎06(6346)8562
架橋フェイスブック始めました!
<https://www.facebook.com/kakehashi.workers>
求人情報はこちら!
スポニチ求人=<https://kyujin.sponichi.co.jp>
スポーツニッポン

CSPI-EXPO
Construction Survey Productivity Improvement EXPO
建設・測量生産性向上展
～次世代を担う、最先端技術が一堂に～

5月12～14日 幕張メッセで開催

製品・技術・サービスを実感していただきたい

過去最大規模で開催！
CSPI-EXPOが大幅にパワーアップして帰ってくる。
コロナ禍で20年は開催延期。今回は19年の第2回から約100社と約250小間増加し、出展約3000社、展示ブース約1400小間という過去最大規模で行われる。
18年の第1回から携わってきた谷委員長は「建設業界と測量業界をつなぐ展示会は過去には例がなく、日本国内で一堂に会

また業界に必要不可欠なレンタル業務を牽引する、アクティオ、カ



過去最大規模で開催！



谷鉄也実行委員長に聞く

第30回「建設・測量生産性向上展」(CSPI-EXPO)は5月12～14日、千葉・幕張メッセで行われる。2年ぶりの開催となり、初出展100社を含む約3000社が出展と規模は過去最大。建設機械や測量機器の業界を牽引する企業が一堂に会し、次世代を担う最先端技術、製品、サービスを紹介する展示会の見どころは、谷鉄也実行委員長に聞く。

今回のコロナの影響で国内企業の出展がほとんど。建設機械は小松製作所、日立建機、キャタピラー、コベルコ建機、住友建機、クボタ、ヤマビル、ライカジオシステムズ、FAROなども出展。

また業界に必要不可欠なレンタル業務を牽引する、アクティオ、カ

谷委員長は「前回の2020年は開催出来ませんでした。この2年間で製品・技術・サービスが飛躍的に進化しており、出展社のほとんどは生産性向上に繋がる製品で、次世代を担う最先端技術が集結します。さらに屋外展示場では、建設現場の意識改革」(日立建機、川畑建設)などの特別セミナーを行う。非接触、リモート技術などの国の推奨する「業界のICT化」や人材不足解消を解決するためのヒントを提供する。

谷委員長は「前回の2020年は開催出来ませんでした。この2年間で製品・技術・サービスが飛躍的に進化しており、出展社のほとんどは生産性向上に繋がる製品で、次世代を担う最先端技術が集結します。さらに屋外展示場では、建設現場の意識改革」(日立建機、川畑建設)などの特別セミナーを行う。非接触、リモート技術などの国の推奨する「業界のICT化」や人材不足解消を解決するためのヒントを提供する。

この2年間で飛躍的に進化した、

「今年96年目を迎える老舗、屋根・雨漏り専門店」
有限会社森建築板金工業



森建築板金工業(奈良県大和高田市)は、大正15年創業、今年96年目を迎える老舗企業。屋根・雨漏り専門店として、一般ユーザーの雨漏りの悩みを解決し続けている。4代目となる森亮介代表取締役(41)は、4代続いてきた理由を考えた時に、「人情」「恩返し」「仲間」の3つが大事なと感じ理念としている。「古くさいかもしれませんが、これからAI時代になったとしても変わらない部分。人を大切にしたいと思っています」と話す。

雨漏りのプロとして、「どんな雨漏りも止める」という技術もさることながら、工事だけではなく部分も大事にしている。社員には「安心・関心・技術・知識・健康」この5つを日々、自分の担当の中でお客様に実施してほしいと日々言っている。施工する職人の技術レベルを保てるようマニュアルを作成し、学べるようにしている。工事施工の様子は、写真撮影しお客様に工事履歴書としてしっかり渡すことも欠かせない。しっかりした技術と手間を惜しまない現場力とともに、事務力も森建築

AI時代でも「人情」「恩返し」「仲間」が大事 森亮介代表取締役
現場力とともに事務力も魅力
顧客対応係、書類係、WEB担当もユーザーに「寄り添う」。

板金工業の魅力だ。顧客対応係は、「寄り添う」ことを大事にし、書類係は丁寧に写真・契約書などを作成し、WEB担当は日々現場の様子をWEB上にアップしていく。森社長は「工事だけが良くてはだめで、こうした担当するひとつひとつがどれも大事で欠けてはいけないと思っています。お客様から感謝されることが何より仕事のモチベーション、人の成長に繋がると考えている。

雨漏りは、建物により違い様々な原因によって起こる。原因を突き止めるのが使命であり、森建築板金工業は、その課題と雨漏りに悩む顧客とことごと向き合っている。自然災害時にも対応できるように、ローリングストックなど万が一の場合でも対応できる仕組みなど、持続可能な取り組みが長寿の秘訣かもしれない。もし、雨漏りで困っている方がいれば一度相談してみたいかがだろうか？(対応エリアは奈良・大阪が中心)今後は、全国に同じ志をもったメンバーを広げていき、各地で困っている方をサポートできる体制を作っていきたいと森社長は考えている。

【会社名】有限会社 森建築板金工業
【所在地】(本社)奈良県大和高田市土庫2丁目4-28
(大阪支店)大阪府八尾市本町1丁目4-1
【電話番号】0120(238)846
【公式サイト】http://www.moribankin.com

「関東中心に内装解体、改修、研り工事を手掛ける」
株式会社ヤマト(水沢グループ)



株式会社ヤマトの本社は埼玉県三郷市にある。関東を中心として主に店舗、事務所の移転、レイアウト変更に伴う内装解体、改修、研(はつ)り工事一式業務を手がけている。その内容は多岐にわたる。建て替えや更地にするための戸建て住宅解体を筆頭に、小屋、倉庫、工場、ビルなどプロならではの技術で素早く適切に対応。さらに、原状回復や仕上げはもちろん、内装解体時に発生する産業廃棄物処理も行うなど、まさに解体工事のスペシャリスト集団として顧客の信頼を獲得している。

株式会社「希望」、「スタッフ」、「クリエイター」とともに「水沢グループ」の一角を占め、08年に千葉県鎌ヶ谷市で創業。17年に三郷営業所を開設し19年、同所に本社を移転した。石川美都子常務は「埼玉に移り、新しい会社になったと思っています。実働で5、6年という新しい会社、新しい人材だから思い切ったことができます」と説明した。自身は18歳で業界入りし、タワークレーンのオペレーターを務めた経験もある。常務として重責を担う現在は社員たちを「母親目線」で見守り、成長を促している。現在48人が在籍し、30人が社員寮を利用中。始業は午前8時で終業は午後5時(休憩1時間)。全員が「建設キャリアアップシステム」に登録している。これは技能者の保有資格、就業履歴、社会保険などの情報を横断的に登録し蓄積する仕組みで、技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備し、将来にわたって建設業の担い手を確保していくシステムだ。

社員を大切に、高い技術力で顧客の信頼を獲得
解体工事のスペシャリスト集団!!
「新しい会社、人材だから思い切ったことができます」石川美都子常務

みで、技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備し、将来にわたって建設業の担い手を確保していくシステムだ。社員を大切に取る取り組みはまだあり、水沢グループとして「ハーネス特別教育」や「低圧電気取扱特別教育」を開催。意欲のある人には資格取得を目指す環境も整っている。「大切なことは学歴や職歴ではありません。意欲があって、センスが大事です」と力を込めた。

そんな石川常務の理念を体現しているのが中村幸太営業課長だ。職人出身で、幾多の現場で統率力を発揮してきた。いわゆるゆとり世代の部下たちを日々鼓舞している。「建築業では建物を作るより壊す方が何倍も危険です。だから、いちばん大事なことは死亡事故を起こさないことです」と話す。その上で「(職人は)分からないことは分からないと発言していいのです。経験している者が全力で協力します」と約束。そして「現場では苦手分野をあえて経験させることもありますが、それはやる気がある人が伸びるからです。これからも全力で助けるので将来は利益を上げて会社を助けてほしいですね」と語った。

その情熱と姿勢は高く評価され、中村課長はまもなく取締役就任予定。「がむしゃらにやれば、普通のサラリーマンではできないようなことも実現できるということを知ってほしいです」。抜てきに応え、ヤマトのために今後も汗を流す。

【会社名】株式会社ヤマト
【所在地】埼玉県三郷市上彦名539の3
【電話番号】048(950)8410
【公式サイト】https://www.yamato-mg.com/

